

春の雁田山登山



勝山貴代 今年の「雁田山登山」は、幼児、小学生の親子と一般参加者総勢78名の参加者でした。毎年最年少は2〜4歳、そして最高齢は70歳を越えています。今回もそれに違いはなく、最年少は2歳の子でした。険しい登り道も休みながら大人も子どもも参加者

同士で「頑張れー」「ここまで来たら休憩ですよ」など声を掛け合い、助け合いながら無事に全員が下山することが出来ました。今年度より、コミュニティスクールの導入が始まりました。地域の大人と地域の子どもの接点が多様な場所で見られ、地域みんな子ども達を育てる小布施町になるよう努めます。



老若男女いざ出発!! スペリ山登山口



登りはじめてから1/3程、足元に注意をして登っています



元気なパパの見本です

雁田山ってどんな山なの？



奥石多美子 今日十時から雁田山登山あるけど行かない？と言われ、軽い気持ちで行くことになり集合場所に行くと、ほとんど家族ずれで小学生が多かったように思いました。何となく安心しました。おばさんでも大丈夫？

こんなに急だったかな？と思いました。若かったからそんなに苦も無く登れたのかもかもしれません。周りの小学生とか幼稚園児が頑張ってるのを見て、私も負けてはいられず頑張りました。岩松院の赤い屋根が見えたときは、ホッとしました。足腰ガタガタだったけど無事帰って来られて大満足。でも次の日は体が筋肉痛でした。仲間にも励まされ苦しかったけど楽しい雁田山登山でした。

小布施に住んだら一度は雁田山に登ったほうが良いよ、と言う友人も誘って秋に再挑戦しようかな、と思っているところです。

編集後記

農家にとって忙しい季節になってきました。サクラノボ農家は収穫・出荷。リンゴ農家は摘果作業、桃農家は見直し摘果や袋掛け、ネクタリンにおいては収穫できる品種もありません。ブドウ農家にとっては摘粒作業にジベレリン処理※とこの時期を逃すわけにいかない時期となっており、災害のない実りの多い年になることを祈ります。

待望の小布施町からオリンピック選手が誕生いたしました。荒井広宙選手に皆さんの声援が届きますように。

私たち議員も明日の小布施町を思い活動しております。気軽にお声をかけ下さい。

※種無しブドウにするための処理のこと

発行責任者

議長 大島 孝司
議会広報常任委員会

委員長 小林 茂	委員 山岸 裕始	委員 中村 雅代	委員 福島 浩洋	委員 川上 健一	委員 小林 一広	委員 大島 孝司
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

- 6月5月3月会議報告 P2~3
- 特集：指定管理制度ってなに！？ P4
- 自治会長との懇談会 P5
- 視察研修・報告（秋田・山形） P6~7
- 議会報告会（大島自治会）& 特別委員会 P8
- 一般質問（12名） P9~20
- 議会日誌・議会の動き P21

6月会議 6月6～17日

議案（補正予算・指定管理）内容

総務産業常任委員会

○ フラワーセンターの新規就農者の利用はどの程度を見込んでいるのか。条例は変更しなくていいのか。以前の宿泊施設の計画から新規就農者用に変わったのはなぜか。

○ 月に5人程度を予定。用途変更を必要としない花の生産基地としての利用を継続するため、農業体験をするために条例改正は必要ないか考える。

6月会議では総額1億4800万円余を追加する一般会計2議案と特別会計3議案を可決した。
生活支援ハウスの指定管理者も原案どおり可決した。
人権擁護委員を推薦する人事案も適任とした。



総合体育館前のトイレの現状

○ 総合体育館前の公衆トイレ改築工事では、換気を良くしてほしい。
○ 留意して施工する。
○ 小布施映像プロジェクト製作業務はどういうものを作るのか。
○ 花・文化・食事・アクティビティの4種類からなる。
各2～3分の映像でラウンドに3市町が入る。
○ 小径整備工事は、整備する場所、方法は、
○ 駅の北側の赤道を利用した小径整備。具体的には林自治会と調整中。まずはルートの確定をしていく。
○ 育英金の貸し付が今年度増えているのか。返済状況はどうか。
○ 27年度で154万円ほど返済について滞っている。返済いただけるように話をしている。



小布施町生活支援ハウス

○ マイナンバー制度のシステム全般の整備は、どの程度で進んでいるのか。カードの発行率はどうか。
○ 当初の予定通りと国から説明を受けている。カード発行は申請が631枚。
○ 総合公園の公園遊具等更新工事は全体的に更新するのか、一部の更新か。
○ 公園の長寿命化計画に従い国の補助をいただきながら3年間で9000万円の整備を行う。予算で出来る範囲のものを計画している。

○ 産地パワーアップ事業の冷蔵庫は新規導入のみか、更新もあるのか。この事業の周知徹底はどうやったのか。
○ 新規導入のみ。補助は機械の本体価格の2分の1。JA須高が周知を行った。

社会文教常任委員会

○ 選定委員の投票結果は同率だったが、社会福祉協議会に決まった理由は何か。どんな意見がでたのか。
○ 社会福祉協議会については①地域との密接なかわりがある②デパートの部分については非常に長い経験がある③2つのデイで柔軟な利用調整ができる④不採算な対象者についても積極的に係る⑤町民に寄り添った運営ができる⑥町の施策とも柔軟に整合性がとれる等の意見が出て委員会の議長が最終的に決めた。

○ 選定委員は10人だが、投票が8人なのはなぜか。
○ 2名については応募者と関わりがあるため、挨拶をして退席した。
○ 議長は誰がやったのか。
○ 選定委員会の要綱に従い、総務課長が行った。
○ 町の負担に変化はあるのか。
○ 今までと同じ条件で変化はない。管理者には土地代ということと、今まで通りおむね200万円の土地代を負担いただく。居住部門においても今までと同様の取り扱いにする。

人事案件



矢島清史さん

任期3年、法務省からの委嘱を受ける人権擁護委員に松村の矢島清史さんの推薦に同意しました。

3月第2回会議

3月28日

3月第2回会議では、条例改正1件、補正予算1件を審議し、原案どおり可決いたしました。会期は1日間。

議案（条例改正）内容

☆喫緊の課題となっている保育士不足の解消に向けて、保育士の配置基準の一部について弾力的運用を可能とするため、省令の改正が行われた。それに伴い、「小布施町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正をするものです。

○ 保育士と同等の知識及び経験とはどういうものか。
○ 特別支援員の研修終

了者等が該当する。
○ この条例に基づく新規認可の相談はあったのか。
○ 具体的にはないが、新規申請があれば認可の方針である。
○ 保育士の当分の間というのは、恒常化するのではないか。町独自の取り組みはあるのか。
○ 児童福祉法の改正であり、国と同一基準で条例改正した。保育の質は落とさないように運営していく。

5月会議

5月17日

一般会計補正予算の審査を総務産業常任委員会に付託し、本会議において全員賛成で可決しました。
補正予算の総額1071万円の追加内容は、リオ五輪の男子50^キ競歩に日本代表として出場する大島出身の荒井広宙選手を応援するためのツアー旅費の補助など857万円、栗ガ丘小・体育館のLED化などに129万円、熊本地震の被災地への義援金85万円。



荒井選手の健闘を祈ります

議案（補正予算）内容

○ 小学校体育館天井の照明器具修繕に至る経過と概要を知りたい。LEDは体育施設に適しているのか。
○ 第一体育館の照明器具のうち1基の照明カバーが落下していた。4カ所の止めネジの内1本が外れていたためと推定している。2年前の業者点検では異常は認められていない。休日であったため幸い人身被害はなかったが、全13基を安全な器具に変更する。同時に今後のランニングコストも考慮し、体育施設で実績のあるLED照明にしたい。

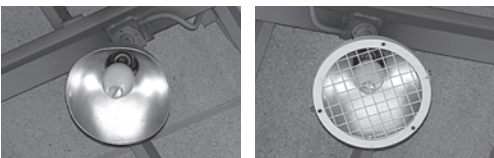
○ 公共施設、改修の全体計画はどうなっているのか。
○ 今年度予算査定に提出された施設を主に、今年度中に計画策定したい。
○ リオオリンピック応援に職員2名を派遣す

○ 小学校体育館天井の照明器具修繕に至る経過と概要を知りたい。LEDは体育施設に適しているのか。
○ 第一体育館の照明器具のうち1基の照明カバーが落下していた。4カ所の止めネジの内1本が外れていたためと推定している。2年前の業者点検では異常は認められていない。休日であったため幸い人身被害はなかったが、全13基を安全な器具に変更する。同時に今後のランニングコストも考慮し、体育施設で実績のあるLED照明にしたい。

○ 小学校体育館天井の照明器具修繕に至る経過と概要を知りたい。LEDは体育施設に適しているのか。
○ 第一体育館の照明器具のうち1基の照明カバーが落下していた。4カ所の止めネジの内1本が外れていたためと推定している。2年前の業者点検では異常は認められていない。休日であったため幸い人身被害はなかったが、全13基を安全な器具に変更する。同時に今後のランニングコストも考慮し、体育施設で実績のあるLED照明にしたい。

○ 公共施設、改修の全体計画はどうなっているのか。
○ 今年度予算査定に提出された施設を主に、今年度中に計画策定したい。
○ リオオリンピック応援に職員2名を派遣す

○ 公共施設、改修の全体計画はどうなっているのか。
○ 今年度予算査定に提出された施設を主に、今年度中に計画策定したい。
○ リオオリンピック応援に職員2名を派遣す



老朽化により体育館の照明のカバーが落下した。（左が落下、右が正常）
事故が起きる前に施設や器具の整備計画を早急に！

○ 出納閉鎖期間中であるが、歳入で繰越金を見込んだ根拠は何か。予算の組み方として正しいのか。
○ 平成27年度の歳入歳出が固まってきたという。その中で繰越金と見込まれる1071万円を追加するもので、予算編成上特に問題はない。
○ 東日本大震災時は、長野県町村会で6000万円の義援金を拠出した。今回の熊本地震では二分の一の3000万円とし、小布施町の公費義援金は85万円の要請を受けた。

慎重審査を期すために、議員間討議を行い、討論を省略して採決の結果、全員挙手で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議会傍聴後、自治会長の皆さんと懇談会



—6月9日公民館講堂—

☆「町職員の異動」はある程度した方が良さそうか。
☆町全般的にわたる質問が多いが、議員個人で考えているのか。質問が偏ってはまずいと思うが、うまく質問されている。提案型の質問も歓迎。

議会傍聴後の感想は



司会進行は正副議長が担当

☆2期連続無投票だが議員定数14名を減らすという話題が出なかったがどう思うのか。
☆政策立案常任委員会が出来て何年になるのか。どんな成果が出ているか。
☆通年議会は様々なこ

議会・議員への意見・要望

☆町役場の「安全衛生管理」の意識の低さには驚いた。毎月会議をやっていますだけではなく、今回の質問に終わらせず目を配って欲しい。
☆低い報酬で議員活動をやられているがどの程度拘束されるのか。自分の質問や施策を考える上で一ヶ月ぐらいかっている

自治会長と町議会議員との懇談会を6月9日公民館講堂で行いました。この懇談会は、自治会長との情報共有、議会に対するご意見や町政発展につながる提案など自由な意見交換を行う場として毎年議会一般質問傍聴後に実施しています。



全議員が出席しました

とに迅速対応できる特色があるが、全国各地の広がりはどうなのか。普通のサラリーマンが議員として勤まると思っているのか。議会はどう考えているのか。
☆御柱祭に補助金を出すような制度をつくって欲しい。
☆外国からの来町者は必ず増える。早めの対応が必要。

その他意見・要望

☆議長、副議長はどうやって決めているのか。

※一般質問傍聴は、小林茂議員の後半と、関悦子議員、小淵晃議員、川上健一議員、および富岡信男議員の前半まで約2時間でした。

～特集～

し て い か ん り し ゃ せ い ど

指定管理者制度ってなに!?

公共施設の管理・運営を考える

小布施町の施設を指定管理者に管理・運営を代行させている施設は下記の12施設です。
今回は須高農業協同組合に指定管理を指定していた「生活支援ハウス」については農協の合併に伴い、再公募を行い、選定委員会（外部委員4名、副町長、課長5名）を開催し、審査。候補団体の選定、第一順位者と交渉、町長が候補団体の選定、議会の議決を経て管理者の指定をしました。

指定管理者制度は、これまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる（行政処分であり委託ではない）制度である。



- ① 小布施町デサービスセンター
- ② 小布施町社会福祉協議会（会長 市村良三）
- ③ 0円



- ① 小布施町ふるさと創造館
- ② 小布施町振興公社（理事長 市村良三）
- ③ 100万円



- ① 小布施町生活支援ハウス
- ② 小布施町社会福祉協議会（会長 市村良三）
- ③ 471万円

※須高農業協同組合から管理者変更した。



- ① 小布施町みすみ草
- ② 夢工房福祉会（理事長 清水千恵子）
- ③ 325万円



- ① 小布施町6次産業センター
- ② 小布施町振興公社（理事長 市村良三）
- ③ 4494万円



- ① フローラルガーデンあぶせ
- ② 小布施町振興公社（会長 市村良三）
- ③ 1562万円



- ① 小布施町雁中同和対策集会所
- ② 部落解放同盟小布施町協議会（会長 山下勇）
- ③ 14万円



- ① 小布施町中央同和対策集会所
- ② 部落解放同盟小布施町協議会（会長 山下勇）
- ③ 16万円



- ① 小布施町ガイドセンター
- ② ア・ラ・小布施（代表取締役 内坂徹）
- ③ 0円



- ① 小布施町総合公園スポーツコミュニティセンター
- ② 松葉屋本店（代表取締役 市川博之）
- ③ 81万円



- ① 小布施町福原地区共同作業所
- ② 部落解放同盟小布施町協議会（会長 山下勇）
- ③ 0円



- ① 小布施町雁中地区共同作業所
- ② 部落解放同盟小布施町協議会（会長 山下勇）
- ③ 0円

① 施設名 ② 管理者（代表者） ③ 28年度当初予算「委託料」 ※管理者が土地代、電気料、水道料等を負担している施設もある

秋田・山形に学ぶ 視察報告

視察日
平成28年
5月23日～25日

学力日本一の秋田県東成瀬村などの視察を全議員
でおこないました。

学力日本一の取り組みを学ぶ

秋田県東成瀬村

年間約600人が視察に訪れる人口約2700人の小さな村がなぜ「学力の高い村」として注目され続けているのか。4時間にわたる鶴飼教育長、近藤小学校長の「教育行政」



授業に集中する子どもたち

授業も伸びのびとしかも堂々と自分を表現している。議員が教室内を勝手に動いても「チラッ」とも見ようとなし集中授業に思わず「この姿が1年生」と思わず疑いなくなった。

授業に集中して、考えてくださいといえ、発表してくださいといえ、発表しようという雰囲気があると教育長は当たり前のように述べています。が、熱意ある教職員がいて、学校を理解してくれる保護者、行事に参加してくれる地域の民たち、環境整備をする行政、それらを強力に推し進めるブレない教育委員会があつてこそ「自ら学ぶ、頑張る子ども」が育つことを学ぶことができた。



自主ノート

食と農からのまちづくり

秋田県横手市

広げよう、地産地消の輪
「食の横手」をまるかじり



横手市が地域の基幹産業である農業や食文化を核に新たなまちづくりを興そうと、中心に据えたのが「食と農」からのまちづくりである。事業の一つ、地産地消の実践に向け8年前から実施している全市民参加型「食と農チームプラス」プロジェクトはチーム員1万5000人を達成している。特徴は、参加者各自が地産地消に関する目標を宣言して実行し、1年間の活動成果をアンケート形式で報告する取り組みだ。この活動を支援する講座、フォーラム、実演会の開催などを積極的にしている。検討するに値する。

温泉クアオルトの先進地に学ぶ

山形県上山市

上山市は、蔵王連峰の懷に抱かれ、城下町・温泉町・宿場町の三つの顔を持つ全国で珍しいまちである。その上、ナショナルトレニングセンター強化拠点施設が整備され、全国からトップアスリートが集い賑わっている。

平成23年度からは、クアオルト推進室を設置しており、保健師、ウォーキングガイド業務を担う健康運動指導士を中心に6名が本腰を入れて事業推進に統括的な役割を担っている。特徴は

①本場ドイツのクアオルト※を参考に、気

候性地形療法を活用したウォーキングを取り入れ医学的効果検証を行っていること。

②ウォーキングコースも認定コース、まちなかコースなどを整備と専任ガイドを毎年養成・認定し74人が登録している。しかも、ガイド賃金を支払い、質の高いガイドを実施し

※クアオルトは森林や温泉などの自然を利用して治療や養生を行うこと。

高齢者あんしん応援隊

山形県金山町

高齢者あんしん応援隊は、4年前の認知症等地域支援推進協議会の席で、認知症の方や家族に対する地域の見守り体制の必要性について要望がでたことから立ち上げるようになった。

協力者には、周知用のマグネットステッカーを配布し、建物や自動車に掲示をしてもらう。具体的には、あいさつや声がけなどのコミュニケーション、気軽に相談しながらお



家族の身近な応援隊の説明

互いの気持ちを理解し助け合える関係づくり、高齢者等への温かい見守りにより認知症の方や高齢者、家族の身近な応援隊として地

まとめ

今回の行政視察では、各地域の実情にあった息の長い取り組みと、トップの強いリーダーシップとやる気のある職員の工夫と行動力、それに対する議会の理解を強く感じた意義のあった視察研修であった。

これからの議会活動に生かしたい。

視察地と内容

- 横手市 食と農からのまちづくり 議員提案による政策条例
- 東成瀬村 学力日本一の村の取り組み
- 金山町 高齢者あんしん応援隊
- 上山市 上山型温泉クアオルト



コース説明を聞く議員団



車や建物に張るワッペン



町民が自主的に作成した応援ポスター

世界に挑戦 小布施からリオへ

Q

8月17日から24日の応援ツアーの行程内容はどうなっていますか。町民20人の参加募集方法・選考はどのように進めますか。テレビ放映されると思いますが現地で町旗・応援旗・のぼり旗の応援は可能なのでしょうか。

パブリックビューイングによる町民一体となった熱い応援の計画

A

行程は17日に日本を出発し、北アメリカにて乗り換えて18日にリオに到着します。19日午前8時スタート予定の競技を観戦応援します。21日リオを出発しブラジル川のイグアスの滝を見学し24日に帰国します。募集は町報・チラシ・同報無線等幅広く周知を図っていきます。20人は

はいかがでしょうか。

リオ五輪出場荒井広宙選手への行政としての応援・支援の内容は 中島教育長 世界注目のなか荒井選手の粘り強い闘志に町からエールを届けたい

最大級な人員と考えています。

応援旗は、昨年の世界選手権と同様に町民の方に作成していただき寄せ書きも多くいただいております。現地で活用し小布施からの応援をアピールしたいと思っています。

パブリックビューイングは競技スタートが現地時間19日午前8時、時差が12時間であり日本では19日午後8時がスタートになります。

テレビ放映は未定ですがライブで放映されればパブリックビューイングも念頭に考えて大勢の皆さんと一緒に応援を送りたいと思います。

栄誉賞等表彰の考えは 中島教育長 創設を考えたい

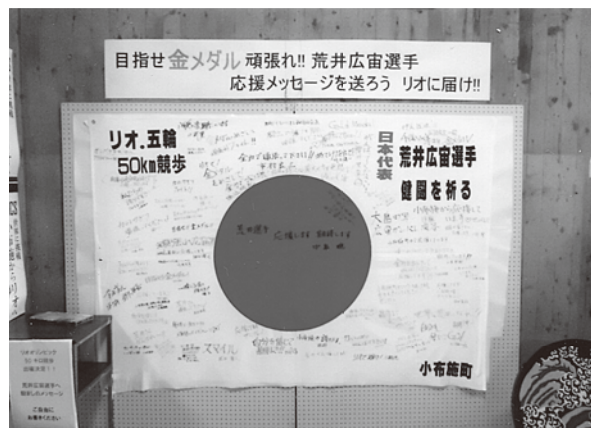
Q

小布施町の表彰規則には栄誉賞の規定がありません。オリンピック選手誕生に合わせ

A

全国や世界に誇れる選手の表彰が円滑に実施できるよう表彰規則を改正すべきと考えますが見解は。町の表彰規則には栄誉賞は特に定めていません。

今回の荒井選手の五輪出場は、小布施町において初のオリンピック出場であり、他の市町村の事例等を踏まえ、スポーツの分野において顕著な成績をあげ町民に明るい希望を与えたものとして、規則改正を検討し、栄誉賞の表彰を行ってまいりたいと考えています。



町民寄贈による寄せ書き応援旗

ながでん

長電大島踏切の拡幅を — 7年越しの要望 —



出前報告会は、議員が2班に分かれて対応しています。気軽に声をかけてください。

議会報告の質問

◎ 今回参加してみても初めてこのような各自治会出前報告会の形態が分かった。もっと多数の参加を呼びかけたが、周知はどのようなのか。

◎ 議会だよりや該当地区への全戸配布のチラシを配布している。
◎ 国保税が引き上げられたが最高限度額はいくらか。
◎ 報告用の資料は月額であり、医療・支援・介護合わせて80万円ぐらいになる。

主な意見要望

◎ 長電の大島踏切が狭く車一台がやっとである。通学路でもあり、安全面で危険性が高いので拡幅をお願いしている。永年の課題であり議会でも優先課題として取り上げてほしい。
◎ 栗畑が中心に発生するカイガラムシの駆除の重要性について啓発活動を積極的に行ってほしい。隣接するリンゴやもも、ネクタリンなどの果樹に被害が拡大する。持ち分の多少にかかわらず協力してほしい。
◎ 議会報酬は類似市町村と比較してどうか。政務活動費はどのくらいか。
◎ 政治に無関心はよくないが、仕事で精いっぱい。アンケートに回答したいが、質問の趣旨が理解できない。

「議員定数等検討特別委員会」（委員長関悦子副議長）は、4月20日議会改革で全国でも先駆的役割を果たしている飯綱町議会と懇談会を行いました。
懇談会の目的は、両町が共通で抱える議員定数や報酬のあり方、議員のなりて不足等について今後の委員会に反映させることにあります。
町政に対してしっかりとしたチェック機能や提言を行うこと。議会活動を通して町民にわかりやすい「議会の見える化」を進めること。特に、人口減少問題では、行政機関全体が小さくならないように町全体で考えていくことなど、引き続き懇談会の機会を設けることになりました。



飯綱町議会に感謝

特別委員会報告 飯綱町と懇談会



小林正子議員

子ども貧困格差 保育と教育で克服の施策を

中島教育長

「就学援助」の支給範囲ひろげたい
小学校「低学年学習支援」何らかの手立て

Q 「アベノミクス」で富裕層の資産は2倍にふくれた一方、全世帯の3分の1が貯蓄ゼロとなった。格差と貧困が子どもの教育格差となつてはいけない。見た目でわからなくても、「子どもの貧困は6人に1人」という政府統計を直視すべき。「子ども食堂」活動をしている方は、「学校給食以外にはバナナしか食べない日もある」という子どもがいるという。格差と貧困を再生産させない教育施策が必要です。

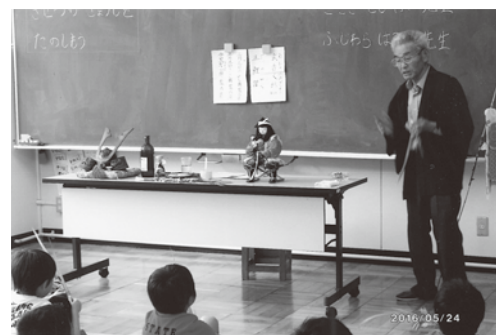
①保育料の軽減は第二子、三子減免制度がありますが、第一子も減免すべきです。②子どもの貧困は「食」を直撃します。学校給食費を無償とし、給食費負担が家庭での食にまわるように。③どの子も修学旅行に行ける補助は。④小学校低学年の「分数」や「少数」での学習のつまづきをさせない学習支援が必要と考えます。中学校での地域学習支援を小学校低学年から実施してはどうでしょう。

村よりも低くなっています。②③対象児童生徒の学用品、通学用品、修学旅行費、学校給食費等、就学援助があります。④可能な学力向上策・学習支援策を、学校や保護者の皆様のご意見と共に、発足したコミュニティスクールでも取り組み、教育委員会も積極的に対応していきます。

Q 近隣より低くても負担は負担です。第一子から50%の軽減を。

A 26年度に十分検討して設定した。下げるのは難しい。

A ①町は保育料を20段階に細分化し、多数が近隣市町



議会視察で参観した東成瀬村小学校（秋田県）の生活科授業。地域の方が端午の節句の行事について伝えていました。

Q 子どもの登下校時のいたたない。地域の見守りが大事です。このところ集団登校になっていますが、下校時はばらばらになります。部活のある中学はさらに心配です。

A 「池田教育次長」警察、防犯協会、少年友の会、ホワイテエンジニアズ、学校、育成会等々、積極的に取り組みいただいています。まちぐるみで見守るために、あいさつ・声かけ運動をしていきます。

Q 就学援助を「住民税非課税」等に限定せず、先生方が児童生徒の学校生活での実態から判断して就学援助費の支給の範囲を広め、保護者に援助を受けるすすめを学校と行政が連携して取

子ども見守り。支え合いマップ実効力を

池田教育次長 まちぐるみの協力をお願いします

八代健康福祉課長 障がい者への対応薄い、見直し図ります

Q 地域支え合いマップは全自治会で作成されたが、その実効性を高めることが必要と考えます。

A 「八代健康福祉課長」高齢者世帯が急速に増加。災害時にとどまらず、日常生活でも地域の力で高齢者の見守りを進めたい。

Q 障がいのある方への対応も大事です。支え合いマップに十分反映されていますか。対応が薄いと思うので、改めて見直ししていきます。

Q 小学校低学年のうちから学習支援に積極対応を求めます。

A 算数は小学校4年から学力差の実態があります。なにかの方策が必要と思っています。

り組んでほしい。

A 所得割は必ずしも実態に即しているとは思えないので、先生方には個別に対応してもらっている。

早期に災害時業務継続計画を

田中総務課長

今年度中に計画の策定をしたい

Q 「業務継続計画（BCP）」の目的は、大規模災害等で行政が被災し資源制約下であっても災害対応の業務を適切に行うためのものであり、地域防災計画や災害対応マニュアル等を補完し、または相まって、非常時優先業務の実施を確保するものです。

災害発生時には、町役場の業務小布施町地域防災計画

量が急激に増加し、極めて膨大なものになるが、業務継続計画を作成することにより、非常時優先業務を適切かつ迅速に実施することが可能になります。小布施町においても早期に「業務継続計画（BCP）」の策定に着手すべきと思いますが考えは。

A 今年度中には計画に必要な事項について整理して計画の策定をしたい。

Q 策定する「業務継続計画」の文書体系は独立した計画書より、地域防災計画、災害時行動マニュアル等を補完できる位置づけが現実的と思うが。

A 災害の種類ごとに対応を行う町民の皆さんや町職員にとって分かりやすい計画であることが重要です。災害ごとのマニュアルの方が分かりやすいと思われるますが課題を整理し、地域防災計画を補完する計画にしていきたい。

Q 最大災害レベルの想定に先に行い、納得できる計画にすべきと思うが。

A 災害発生レベルの想定を住民の皆さんのご意見をお聞きしながら合意形成していきたい。

「農村文明創世日本塾」の設立目的は

市村町長

新しい価値を生み出す土壌になっていく

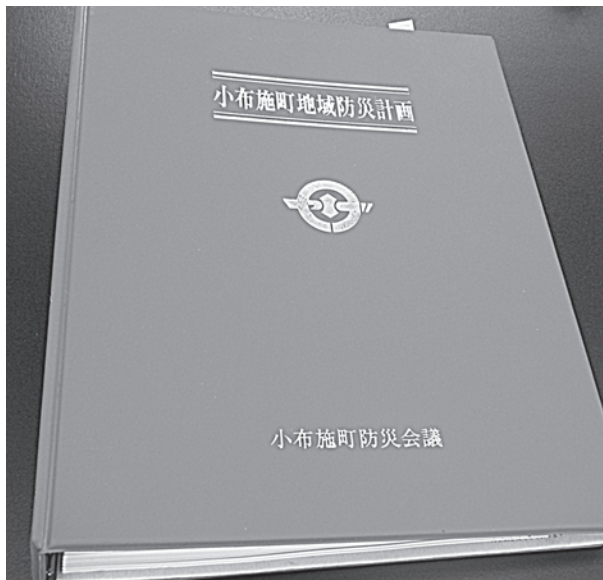
Q 「農村文明創世日本塾」の設立準備フォーラムが開かれたと報道がありました。

A 代表世話人の一人でもあります市村町長に「塾」の真のねらいについておたずねいたします。

A 5年前、前木島平村長の芳川修二氏が始めた農村の文化や意義を研究、発信する「農村文明塾」を発展させ全国組織「農村文明創世日本塾」を、7月に設立する方針を決めた。

設立趣旨は、農山漁村の衰退に対する危機意識を強調し、「持続的発展を可能にする方策を提案できる社会的活動体とともに構築できる」緩やかな連合を目指している。

町にとっては、しっかり運営すればプレゼンスが持て、新しい価値を生み出す土壌になっていくものと確信している。



参加者全員で「支え合いマップ」の点検



関 悦子議員

病後児保育の現状と課題は

池田教育次長

安心して利用できるように取り組む

者には子育てと就労の両面で大きな負担を抱えることになる。

Q 乳幼児を抱える保護者の大きな不安は、子どもの体調の変化に関わることである。急にぐったりしてしまう、突然に発熱する、どこが、どのように痛いのかならない、原因が全く分からないなど、大きな心配が襲う。当然、保育園などは休み、治療、休養に努めるが、保護者は病後の対応についても心配が続き、保護

者は子育てと就労の両面で大きな負担を抱えることになる。
町はこれらに対応するため、平成20年から病後児保育事業を実施した。事業実施はNPO法人に委託し、利用定員は1日2人、利用期間は1回7日以内とされ、また、事前に「利用登録」し、利用の際は「利用申込書」と「診療情報提供書」を提出することになっている。

A (1) 事業開始後7年余り経過するが、この間の利用状況は。

(2) 利用者数が少ない原因をどのように分析しているか。

(3) 日頃から慣れ親しんでいる保育士に囲まれた施設で病後児保育が出来れば、より利用しやすいと思うが。

A (1) 述べ利用者は4人。
(2) 利用者が少ない原因は、「利用手続きが面倒」「ある程度の回復期で保育園に預けてしまう」「保護者が子どもの介護休暇

を取得する」などと思われる。
(3) 町保育士が従事しているが、今後も、実施施設や医師等の理解、連携を高めるなど、利用増加のため、積極的に取り組む。

外国人訪問者への今後の対応は

竹内産業振興課長

町の魅力を 知ってもらおうと努める

Q 国は、観光立国を目指し、訪日外国人旅行者の増加を大きな施策に掲げている。様々な取り組みを進め、近年は訪日する外国人の数の増加がみられているが、さらに、5年後の目標を現在の倍の4000万人とするよう検討している。

また、当町にも年間を通じて外国人観光客の来訪者が多く見られるようになってきている。

職員の人事異動とモチベーション向上のための取り組みを

久保田副町長

適切な人事異動で職員力を高めます

しかし、行政機関は主たる財源を税金等に依拠し、住民への行政サービスをを行う組織であり、職員は「公平・中立」を第一義に職務に専念すべきであります。

同一の職務に長く勤務すると恣意的差別や癒着が起きやすく、また現状維持・前例踏襲になりやすい。加えて、若い職員のモチベーションも上がりません。

よって、行政機関は定期的な人事異動は必要不可欠です。

(1) 町の人事異動の方針と目的は
(2) 10年以上も異動しない職員がおり、人事管理機能が劣化しているのではないか。

(3) 町の外から小布施を見るためにも、須高3市町村での人事交流をされてはどうか。

A 職員の在籍期間は3年、5年が適当と考え、在籍の長い職員については担当業務の状況を踏まえ異動に努めます。

モチベーションの向上のためにも大きな効果が期待できると考えています。須高3市町村の人事交流は須坂市・高山村と検討していきます。

ふるさと納税一億円超す 成果と「企業版」対応は

西原企画政策課長

より積極的に取り組みます

Q 地方で生まれ地方で養育した若者が、都会に就職し税金を納める。豊かな都会がより栄えて、若者を育てた地方がますます疲弊していく中で、「ふるさと納税」は平成21年より始まりました。

町のふるさと納税は、7年間の平均額は298万円でしたが、昨年度は積極的な取り組みで1億円を越す成果を収めた。
(1) 昨年度の「ふるさと納税」の

国は、外国人旅行者訪日促進の意義を、「国際相互の理解の促進」「経済活性化」「地域の魅力の再発見」の三点を掲げているが、当町においても「地域の自然、伝統、文化の再発見」「地域経済への波及効果と地域活性化」に繋がるものと考えられる。

(1) 町を訪れる外国人観光客数をどのように把握しているか。
(2) 外国人観光客を誘致するため、関係機関との連携は図られているか。

(3) 外国人の要望や関心を把握し、意向に沿った企画やコースの設定を。

A (1) 町独自の把握は行っておらず、文化観光協会が観光案内所利用者数を把握している。

(2) 中野市、山ノ内町と連携し、観光プロモーションビデオを作成し、誘致につなげる。

(3) 様々な目的を持って来る方々に町の魅力を知ってもらいたい。町内在住の外国籍の方々と懇談し、より良い方策を検討したい。

件数と総金額は。

(2) 返礼品の品目別の比率は。

(3) パンフレット配布方法、予約制の導入、返礼品の充実など積極的な取り組みを。

A (4) 平成28年より始まる「企業版ふるさと納税」に対する町の準備状況は。
(1) ふるさと納税の昨年度実績は、6543件で1億272万円でした。

(2) 返礼品は農産物87%、農産加工品6%、商工業製品6%、滞在コース1%でした。

(3) より積極的に取り組みます。

(4) 「企業版ふるさと納税」の可能性を検討していきます。



モチベーション向上のために人事異動を



返礼品のおぶせ産りんご



川上健一議員

町職員の衛生委員会は機能してるか

田中総務課長

委員会を早急に立ち上げる

Q 労働安全衛生法に基づき、一定の基準に該当する事業所では、安全委員会、衛生委員会を設置しなければいけないとされています。

委員会設置の目的は、労働災害防止であり、そのため安全委員会や衛生委員会に於いて、労働者の危険または健康障害を防止するための基本となるべき対策（労働災害の原因及び再発防止対策等）などの重要事項について十分な調査審議を行う必要があるとしています。

安全委員会も衛生委員会もそれぞれ常時使用する労働者が50人以上の事業場で設置しなければならないとしています。

昨今、様々な職場で、精神的に病んでしまう労働者が増えていきます。仕事がいまいけない、或いは、人間関係がいまいけないなど、うつ病になったり、ノイローゼになったり、或いは職場でのい

じめや、パワハラ、セクハラ、マタハラといったことで職場に出て来られなくなったりといったケースが多くなっています。また

過重労働や家庭内の様々な問題を抱え込み最悪の事態も心配されます。できるだけ早い段階で未然に防ぐ必要があると考えます。

町職員が精神的にも肉体的にも健康で気持ちよく仕事に取り組んでいたければ、町民の利益に繋がるものと考えます。一人の職員が健康を害し職場を長期にわたり離れることになれば、周りの職員にも少しずつ影響が出てくることになり、ひいては町民への様々な住民サービスの低下にもつながることとなります。

小布施町には職員安全衛生管理要綱が設けられています。この中に衛生委員会についても目的と構成について記述があり、衛生委員会は組織されているものと思えます。

(1) 衛生管理者について職名は。

(2) 衛生委員会は町長が指名したものとありますが、その職名は。

(3) 委員会は年何回開かれ、どのようなことが問題点・改善点として挙げられてきたのか。

(4) 産業医についてどのように考えているのか。

(5) 小布施町職員の健康については、産業医や精神科医等を含め、安全衛生にもっと目を向けるべきと思うがどうか。

A 改正労働安全衛生法に基づき、ストレスチェック制度に対応するため、新たに本年1月に要綱を施行し、その中で衛生管理者や産業医、衛生委員会等を規定しました。衛生委員会の設置、衛生管理者、産業医については、まだ設置及び委嘱していません。早急に立ち上げたいと考えています。

(1) 衛生管理者は、保健師を予定しています。

(2) 衛生委員会は、7月には開催する予定です。委員には、副町長、産業医、衛生管理者、総務課及び健康福祉課職員、職員組合から推薦された職員数名を考えています。

(3) 委員会は開催していません。

(4) 産業医は、新たな要綱に基づき設置します。健康診断の実施・職員の健康管理等を行う予定です。新生病院に委託する予定です。

(5) 選任する産業医のご意見や健康管理に係る関係者のご意見をいただき、また、積極的な規則の改正なども含めて、より実効性のある健康管理を行います。



仕事に励む役場職員

幅広いウォーキングの取り組みを

八代健康福祉課長

施設整備も含め進めたい



富岡信男議員

Q ウォーキングは、時間も場所も選ばない、体への負担が少ない、年齢や性別に関係なく誰でも簡単にできることから多くの人が、健康づくりとして取り組んでいます。また、ウォーキングによる健康づくりに取り組んでいる自治体も増えています。

議会議員研修で視察しました山

形県上山市では、「かみのやま温泉クアオルト事業」として取り組んでいました。クアオルトとは、ドイツ語で健康保養地、療養地の意味だそうです。

上山市は、山形県の南東部に位置し、開湯560年の歴史ある「かみのやま温泉」をはじめ、蔵王連峰の懷に抱かれた、城下町、温泉

町、宿場町の顔を併せ持つ、人口3万2千人、観光入込客数年間70万人、宿泊客数29万人の市です。

上山市では、先進地ドイツに習って、豊かな自然や温泉、旬産旬消の食、医学的根拠に基づくウォーキングなどを組み合わせ、心身の健康を促進し、健康、

観光、環境の三つを柱に、市民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目的に、全国に先駆けて長期滞在型の質の高い健康保養地づくりに取り組んでいます。

大勢の皆さんに参加していただくよう毎日健康ウォーキングカレンダーの作成やイベントを開催するとともに、目標値を設定するなど市を挙げて事業推進を図っています。

小布施町でも健康ウォーキング事業に取り組む、第五次小布施町総合計画後期基本計画では、重点施策としてウォーキングによる健康づくりを掲げ、子どもからお年寄りまで世代を問わず多くの人が気軽に取り組めるパワーウォーキングにより、健康長寿世界一を目指すとしています。

ウォーキングについてはいろいろな種類があって、それぞれの特性に合わせた取り組みが必要であり、パワーウォーキングにだけ偏

ることなく、多くの皆さんが参加できる機会の提供、休憩場所や距離表示などのコース整備に取り組む必要があるのではないかと。

A し、全庁一体となった取り組みを行うとともに、子どもから大人まで多くの年齢層の参加についても研究をしていきます。

ウォーキングコースの整備につきましては、町内を東部・西部・南部・北部・中央の5地域（地域ごとに2コース）のマップを作成し、町ホームページに5月下旬に掲載しました。拡大したマップを印刷し公会堂に張っていただくよう準備を進めています。このマップを活用するとともに、各種団体の会議・保健福祉委員会の地区学習会等で健康づくりのためのウォーキングに取り組んでいます。

ウォーキング教室では、ポールウォーキングの講習会も試行的に行っていて、ウォーキングの選択肢を広げていく取り組みもしています。

案内板の設置、距離表示、休憩場所の確保につきましても、順次整備していきます。



ウォーキングコースに案内板、休憩施設等の設置を

験を通して、健康、



中村雅代議員

職員定数の適正化への取り組みを

久保田副町長

適正化を目指し、住民サービスの維持向上を図ります

町は「自立ビジョン」に

基づき人件費の削減などを中心し財政健全化に努めていますが、これからの町づくりの理念や構想に向かって推進するためには、役場組織の活性化、多様化する行政課題に対応できる職員が必要です。また、非正規雇用の増大が大きな社会問題となっているが公務職場も例外ではない。2012年総務省調査によると小布施町は非正規職員比率が67・2%で全国2番目に高い結果となっています。これからの町の基本姿勢は。

(1)今年度の職員数は。(2)住民サービス充実に一定の正規職員数が必要では。(3)職場の実態を踏まえての人員配置をしているのか。

正規職員96人非正規職員194人で非正規比率

は66・9%となります。自立目標実現に向け正規数を条例の118人以内とし、90人台まで大幅に減らして約1億円の削減を行ってきしました。今後も、業務をこなすのに必要な職員数の確保を目指すとともに、町の財政状況も鑑み非正規職員の処遇改善につとめ、住民サービスの維持向上を図ってまいります。

町内を訪れ、施設など観光しておられる(団体ではなく)ご夫婦連れや友人グループなどの比較的少人数の方で、道に迷っているとところを見かけます。特に公共交通機関の利用者にとって案内板などの表示が足りないように思うがどうか。

中心街や商店街などへのスムーズな案内を観光案内所や文化観光協会などと連携して充実を図ってはどうか。

駅利用者に対する町中心部への案内は、すべて

行えているとは言いがたい。案内所自体が分かりにくいとの指摘もあるのでもなたにも分かり易い案内の構築を図りたい。またきめ細やかで統一された案内が求められて



草木が茂り、わかりにくい案内板

おもてなしの 観光充実を

竹内産業振興課長
スピード感もって 検討します

大島踏切の拡幅は無条件で実施を

畔上建設水道課長

国・県の指導は、近隣の踏切の廃止が

付帯条件



渡辺建次議員

大島踏切の拡幅について

は、地元大島自治会より、数年前から要望されています。その目的は、通学児童と車両との交通事故防止と車両対車両の交通事故防止及び朝夕の渋滞緩和です。近隣の第4種踏切である唐澤踏切の廃止が付帯条件ということですが、利用形態の異なる二つの踏切は、切り離して議論すべきと考えますが、いかがでしょうか。(唐澤踏切の利用は主に農業従事者)

唐澤踏切の廃止は交付金の交付条件であり、切り離して議論できないものと思っています。ちなみに工事費は約一億円です。

第4種踏切の唐澤踏切を第3種(警報器を付けて)に格上げして残すことは考えられないか。

鉄道事業者である長野電鉄に確認したところ、そのような考えはないとのこと。



第4種の唐澤踏切

第4種踏切に、センサーで人を感知すると音声で注意を促し、夜間には光が点灯して踏切の存在を知らせる装置を、一カ所28万円で設置できるとのこと。唐澤踏切の安全確保のために検討されています。

安全対策の一つの提案として長野電鉄へ話をしたい。

栗木レンガの更新 及び廃止を

畔上建設水道課長

景観に配慮した素材での 打ち替えを進めます

今年の5月3日、おぶせミュージアム前の歩道で、

中年の女性が凸凹の歩道につまづき転倒、軽傷を負ったとのこと。栗木レンガの早急な打ち替えが必要です。

景観に配慮した素材での打ち替えを進めています。打ち替えまでの間は、職員が応急の補修を対応します。

防災対策の見直しと 強化策は

八代健康福祉課長・田中総務課長
更なる充実と強化に 努めます

支え合いマップは、隣組にとらわれず、見守りが必要な世帯をどのように防災と結びつけるかが重要と思うが。

避難所で要支援者が避難したかどうか気づいていたかどうかであれば、隣組にとらわれず自治会内で支援をお願いしています。

災害時の業務継続計画(BCP)の作成の予定とその内容は。

具体的な検討はこれからです。

罹災証明の発行は、被災者にとって一日も早くしてもらいたいもの。小布施町の罹災証明調査員資格者数と今後の対応策は。

各自自治体から委嘱を受けており、小布施町では固定資産税担当職員が、その業務を行っています。今後はBCPを検討するなかで調査員の態勢を検討したい。



福島浩洋議員

まち・ひと・しごと総合戦略の積極的な推進を

市村町長

雇用創出、定住促進、人口確保に努めます

Q 人口減少の中、若い人たちがわくわくして活躍し生活できる場が必要と考えるが。

A 町役場では今年度8名新しく採用しました。6名は社会人枠の一般事務職員、1名は社会福祉士、1名は保育士、また町内企業の採用については数社

に状況をお聞きしたところ工業系製造業はやや減少、食品小売業は昨年並みですが、経済状況は向上になりつつあり採用意欲は高く

て、やる気のある優秀な人に是非来て頂きたいとの事。

Q すでに公表済みの「地方創生まち・ひと・しごと」の目標に対して現況はどうか。

A 目標値は平成31年としており現時点での達成度の詳細な検証はまだ出来ておりませんが、1年毎の検証は当然必要です。定住促進を進め、雇用を確保する

には長野市の中核連携都市としての役割が大切、町内を含めて近隣市町村にも優秀な企業がたくさんあり40年前に目指したベッタウン化により町人口を確保し、さらに年齢構成を考えると小、中学1学年100人を維持したい。小

布施町基本構想審議会でも真剣に討議をお願いしております。

目に見える地方創生の推進は

西原企画政策課長
町単独事業の「3本の柱」を今後本格的に進めてまいります

Q 地方創生加速化交付金・「目に見える地方創生」を

実現させるための5600万円について町単独事業と飯綱町や長野市および須坂市との連携事業の現在の進捗状況は。

A 3本の柱（イ）文化と健康を軸とした滞在型観光の推進による雇用創出移住定住の促進（ロ）映像クリエイターの移住定住促進（ハ）長期的な新しい観光政策の策定について企画・仕



雁田山山頂の元気な子どもたち

役場職員の円滑な配置転換を

田中総務課長

できる限り環境を整える

Q 私が議員になって以来6年目になりますが、それ以前から配置されていた担当職員が未だに異動をしていない職員が散

見されます。円滑な人事異動は組織にとっても本人と周囲の職員にとっても重要です。人材の育成と組織の硬直化の防止のため、10年以上同じ部署にいる職員は一括して異動させてはどうかと考えます。

昨日の小淵議員の一般質問に対する答弁の中で、「職員が一つの部署に在籍する期間は、3年から5年が適当」と回答しています。10年以上、15年以上同じ部署に在籍している職員は速やかに別の部署へ異動させるべきではないでしょうか。見解をお尋ね致します。

A ここ10年で福祉関係などを中心に仕事専門化してきており、一般職にもその状況がみられる。専門化した職務の内容を異動した者が理解するためには係全体でサポートしなければならず、係の人数によつては同じ年に異動させることは困難です。3年から5年を目標に異動できる環境を整えていきます。

農業施策の現状と今後について

竹内産業振興課長

今後相談時や申請時の確認をしっかりと行っていく

Q 現状を見渡すと、小布施町は定住促進と関連させて、新規就農者の支援に力を入れてい

ます。しかし、小布施の農家は新規就農者のみでなく、青年就農者もいれば定年後の就農者もいます。特に後継者の青年就農者は、若干条件が移住した新規就農者より良いだけで耕地面積や収入面で大きな開きが無い場合もあります。若手の農業後継者、定年後の就農者、小さな規模の兼業農家など、さまざまな事情で、さまざまな規模で、農業を担っている多くの町民の皆さんがいっぱいいます。それは、小布施町のような地方の田舎町であれば当然であり、また、農業立

様書を作成し進めてまいります。

飯綱町とは中学生グローカーの合宿を計画、長野市とは9市町村共同で行う「お仕事ながの」へ町から企業2社が登録し、今後UJITタインの推進、東京圏でのマッチングイベントや合同面接会等の参加により更に充実をしてまいります。

須坂市とは災害時の情報伝達手段等の整備を進めており、病院・医師等連携をいかにして行うか更なるマニュアルの充実を迅速に図って参ります。



山頂・元気なお年寄り？

町を標榜している小布施町であれば、農業が町民の皆さんに身近であることは自然なことです。

小布施町で以前から代々農業を行ってきたいる農家の皆さんへの対応なども充実させていく必要があるのではないのでしょうか。今後の小布施町の農業をどうしていくかと言う観点から、農業施策の現状と今後の展望について見解をお聞きます。

A 若者にとって農業が魅力ある産業となるよう進めて

います。中でも新規就農者対策は喫緊の課題として取り組み、一定の成果を得ています。今後も、引き続き町の強みを前面に出し、他産地に打ち勝つ農業施策を展開するよう努めます。



小布施町の就農に関するHP

総務課	総務係	防災、選挙、法規、情報公開、庁舎管理、人事給与、秘書、人材育成、広報・広報
	財政係	財政計画、予算、町有財産、入札・契約、公営住宅
	税務会計係	個人・法人住民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税、国民健康保険税、町たばこ税、町税の徴収、滞納処分、会計事務、決算
企画政策課	企画係	長期施策及び重要施策の調整・推進、行政改革、統計、情報政策、広報行政、住民との協働推進、官学連携、男女共同参画、公共交通
	定住交流係	定住促進、人口問題、地域の未来づくり、地域間交流
	福祉係	高齢者福祉、ひとり親家庭福祉、福祉医療、障がい者福祉、生活保護、介護保険、生活ハウス、老人福祉センター
健康福祉課	地域包括支援センター	介護予防マネジメント、高齢者の総合相談・権利擁護、認知症予防・対策、健康福祉センター
	健康係	国民健康保険、後期高齢者医療保険、健康づくり、保健予防、栄養・食生活改善、食育、保健センター
	住民係	戸籍、住民基本台帳、国民年金、環境衛生・美化、公害、廃棄物、自然保護、墓地・火葬、大の登録、消費生活、生活灯、防犯
産業振興課	産業政策係	農業・商業・工業の連携、ブランド戦略、交流事業の産業化
	農業振興係	農業振興、土地改良、林業、畜産、フラワーセンター、フローラルガーデン、6次産業センター、ふるさと創造館
	商工業振興係	商工業振興、観光振興、町営駐車場、勤労者対策、文化観光協会、オープンガーデン
	都市計画係	都市計画、景観整備、建築・住宅、交通安全対策、交通災害共済、都市公園、栗木歩道・沿道花壇
建設水道課	建設管理係	道路・水路・河川の整備と維持管理
	上下水道係	上水道、公共下水道、農業集落排水
教育委員会	子ども支援係	教育委員会の運営、小・中学校、幼稚園、保育園、児童保育、児童クラブ、子ども教室、給食センター、エンゼルランドセンター、青少年育成
	生涯学習係	生涯学習、社会教育、スポーツ振興、人権・同和政策、文化・芸術振興、文化財、体育施設、公民館、図書館、高井清山記念館、おふせミュージアム・中島千流館、歴史民俗資料館、まちとよてら

業務分担表の一部



山岸裕始議員

定住促進に向けた取り組みの方向転換の時期では

西原企画政策課長

町民と一緒に考える

役割を確認して進めていく

Q

定住人口の増のために行政には様々な取り組みをされることが期待されています。

移住定住に対しては町民の活動の支援にシフトしていくべきと考えますがどのように進めていくのか。

A

提案につきましては、基本的に賛同します。行政で出来ない部分は、町民の皆さんに



来年度新生病院の敷地に町が介護施設を建設予定地、介護事業者から運営者は公募をして欲しいという声が出ている！

施設建設にあたり、町民・事業者の理解を得るべきでは

八代健康福祉課長

田中総務課長

町政懇談会や事業者個別に説明していく

Q

小布施町高齢者福祉計画・第6期小布施町介護保険事業計画の施設整備方針として小規模多機能型居宅介護の定員を25人追加予定です。

看護小規模多機能型居宅介護の施設を公設して民間に運営していただく予定と伺いました。

(1)5月26日に介護施設を公設し、管理者は公募しないということ等を「介護保険事業連絡会」で説明がされました。その際に出た

意見を説明してください。

(2)「運営希望者がいるのに公募しないで決める方法はあるのかしつかりと調べて欲しい」との発言があったと伺いました。今回の事業を進めていくにあたり、国や県からの指導をいただいていることがありましたら内容を正確に教えてください。

(3)小布施町の公共施設の総床面積は5万8300㎡で町民一人当たり5・15㎡になります。

全国平均に比べると約1.5倍も多い結果となります。今回の施設建設を公共事業で行うということに、町ではどのような見解をお持ちでしょうか

A

指定管理者を公募しないことに対して法的根拠を明らかにして欲しいという意見がありました。

施設の指定管理者を公募によらない根拠は町条例に、施設の建設については介護保険法にありま

す。また6期計画を策定するにあたり、施設整備の希望があったのは町内事業者だけでしたので、それに基いて計画を策定しました。国県に指導いただいた点については、計画を検討する中で、1棟の建物に小規模多機能とグループホーム等を併設する場合の工事の発注方法について県の契約課に確認をしています。

公共施設の建設にあたっては、全体の状況把握と長期視点をもった計画的な取り組みが欠かせません。今後、全体的に施設を減らしながら、減らす部分と増やす部分を同時に計画していくことが必要です。小規模多機能型居宅介護施設は、団塊の世代が75歳以上となる時、必要な施設であり、需要は大きくなるものと思われ、必要な施設と考えています。

4 介護施設整備方針				
	第5期 H26 (2014)	第6期 H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1 介護老人福祉施設 (介護)	70床			
2 介護老人福祉施設 (介護)				
3 小規模多機能型居宅介護 (介護)	25人定員		新規追加 25人定員	
4 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
5 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
6 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
7 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
8 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
9 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
10 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
11 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
12 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
13 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
14 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
15 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
16 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
17 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
18 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
19 小規模多機能型居宅介護 (介護)				
20 小規模多機能型居宅介護 (介護)				

※看護小規模多機能型居宅介護を含む。

浅川改修期成同盟会

平成28年度の総会 う長野県に要望。千が、5月30日に長野市で開催されました。改修期成同盟会では、ダムと河川改修を平成28年度に完成を推進するとともに、小布施町吉島地籍の排水機場のポンプ増設事業が早期に進むよ

403号整備

促進期成同盟会



「気をつけて！」登校風景

6月3日に長野市生涯学習センターで、関係隣接市町村、長野市・千曲市・須坂市・中野市・小布施町の関係者約50人が参加して開催された。これは毎年速やかに整備促進が進むように長野市で開催されている。

「中野・千曲間」53kmの内残り12%の未改良区間の早期整備事業促進のため要望書を全員一致で可決し、安倍知事へ各首長名で提出した。

小布施町は独自の景観計画を盛り込んだ要望を知事あてに提出しており、県の調査も進行するなか、早期整備実現が望まれる。

議会から熊本地震へ義援金



正副議長から市町村長へ

小布施町議会では、この度の熊本地震の災害復興を願って20万円を義援金として町長を通じて熊本に届けて頂くように寄付をさせていただきました。一日も早く平穏な生活が戻ることを議員一同願っております。

議会日誌

研修会で事例を学ぶ / 期成同盟では実現に向けて

平成28年度 全国町村議会議長・副議長研修会

5月30、31日、る「地域経済の「全国町村議会議長、副議長研修会」これからの町村議会を「考える」に参加しました。講演は、江藤俊昭氏による「地方議会の役割と改革の行方」―「住民自治の根幹をなす議会」の作動―、伊藤聡子氏によ



閉会のあいさつ(大島議長)